



発達障害に関する周知・啓発活動の報告について (令和4年度実績)

- ① かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
- ② 発達障害に関する講演会

令和5年度第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会



令和4年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

1. 概要

研修については、国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業実施要綱（令和2年3月24日付け障発0324第8号）」により定められています。

（1）目的

発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害者等が日頃より受診する診療所の主治医等の医療従事者等に対して、発達障害に関する国の研修の内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的とする。

（2）内容

国の研修内容に基づき、発達障害支援に携わるものとして必要で適切な発達障害に関する診療の知識・技術などの修得に資する内容とする。また、研修内容については、国の研修で使用されているテキストの内容に基づいたものとする。

その際、国の研修を踏まえた、研修を異なる圏域で実施するなど工夫するものとする。なお、地域の実情に応じて複数の研修内容を合わせて実施することや単独の研修内容のみで実施することもできるものとする。

（3）修了証書の交付等

研修修了者には修了証書を交付する（さいたま市内の医療機関についてはさいたま市から、市外の医療機関については埼玉県から交付する）。

また、研修修了者の同意を得て、研修修了者の名簿を作成し、その情報を市町村や発達障害者支援センターなどの関係機関に配布することで、地域の発達障害医療体制の推進並びに管内の発達障害者及びその家族等の受診の利便性に資するものとする。

（4）研修メニュー

・発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅠ～Ⅲ（R2～）

※～R1：発達障害地域包括支援研修：早期支援、精神保健・精神医療並びに発達障害支援医学研修

令和4年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

2. さいたま市（パートⅠ）の実施状況

埼玉県と共催で平成28年度から実施しており、例年1～2コースを実施。平成30年度から本市においても予算化し、埼玉県とさいたま市で1回ずつ実施している。

【令和4年度 開催実績（さいたま市実施）】

	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
主 催	埼玉県・さいたま市
後 援	一般社団法人埼玉県医師会
日 時	令和4年9月15日（木）9時～令和4年9月30日（金）16時まで
会 場	動画配信によるオンライン形式
対 象	埼玉県内の医療機関の医師
参加者	108名（埼玉県：90名/さいたま市：18名）
講 師	さいたま市総合療育センターひまわり学園 参事 後藤 晴美 先生
内 容	・発達障害支援施策について ・発達障害の早期支援方法について 等
国研修メニュー	発達障害者支援研修 指導者養成研修パートⅠ

令和4年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

3. 令和4年度アンケート結果

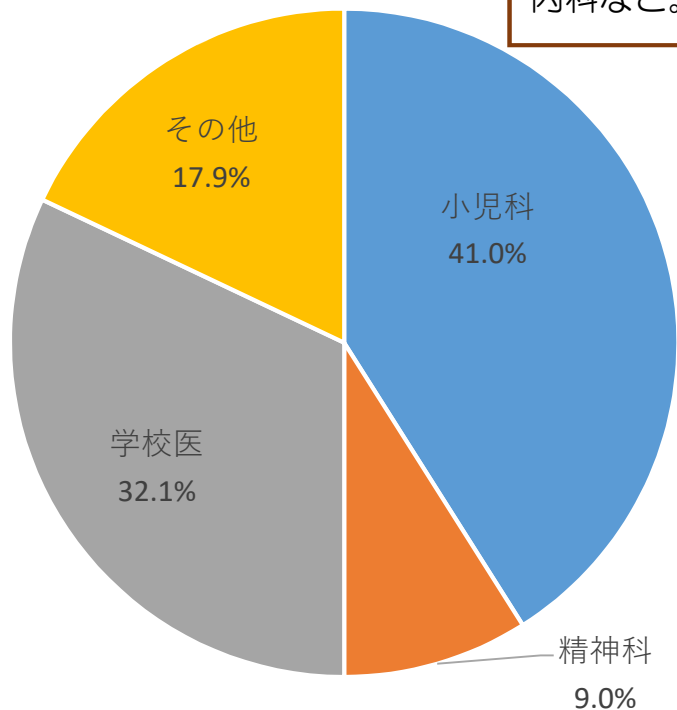
【かかりつけ医等発達障害対応力向上研修（パートⅠ）（さいたま市実施）】

実施日：令和4年9月15日（木）～令和4年9月30日（金）

アンケート回収数：75（回収率 69%）（埼玉県：63名/さいたま市：12名）

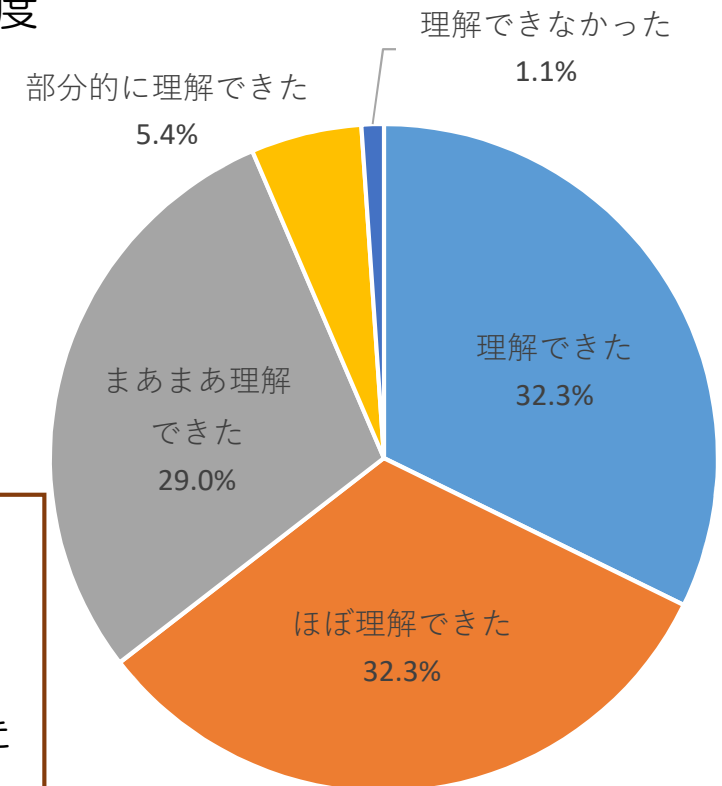
アンケート回答期間：令和4年9月15日（木）～令和4年10月28日（金）

1. 診療科目



その他の内訳としては、
内科、眼科、歯科、心療
内科など。

2. 理解度



理解度については、
・理解できた
・ほぼ理解できた
・まあまあ理解できた
・部分的に理解できた
・あまり理解できなかった
・理解できなかった
の6段階で項目設定。

3. 令和4年度アンケート結果

感想 など（パートⅠ）

- ・ 関係性を深めるために避けるべきスキル、関係性を深めるために用いるべきスキルについての説明はとても分かりやすく、理解が深まった。小児医療と発達障害についても同様である。私にとって発達障害は専門外であるが、対象となる小児は少なくない。資料を読み返して理解を深めたいと思う。
- ・ 久しぶりに参加させて頂きました。地域のクリニックとして、また学校医として大変勉強になりました。早期発見、親御さんの理解がこどもにとって重要なことと思い参加しました。有難うございました。
- ・ その地域ごとの支援体制を知っておくことが、その子にあったサービスを提供するうえで必要不可欠であることを再認識いたしました。
- ・ 内容が非常に多かったですが、繰り返し見ることができたり、止めながら見ることができたため、非常に良かったです。今までにまとまった形で発達障害の支援に関連した講演を聴いたことがなかったので、非常に勉強になりました。また、資料も充実しており、復習や今後にも役に立てられそうです。可能であれば、復習の際に、何らかの形でまた動画が繰り返し拝聴できると良いなと思いました。
- ・ 発達障害者に対する対応の仕方が理解できた。養育環境を統制して、その人なりの住みやすい環境が得られるようにしてあげることが大切。障害者が体験してきた、過去の苦労を想像し共感してあげる事を、過去の失敗による自分の評価の低いイメージによって、自信を失い、思った事を口に出すことができなくなっているような人がいる事を、認識できた。また、対話をするときには、命令、指示や質問が、相手に対するストレスになるという事を配慮しながら、言葉を選ぶ必要性を学んだ。

令和4年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

2. 埼玉県（パートⅢ）の実施状況

埼玉県と共催で平成28年度から実施しており、例年1～2コースを実施。平成30年度から本市においても予算化し、埼玉県とさいたま市で1回ずつ実施している。

【令和4年度 開催実績（埼玉県実施）】

	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
主 催	埼玉県・さいたま市
後 援	一般社団法人埼玉県医師会
日 時	令和5年1月16日（月）9時～令和5年1月31日（火）16時
会 場	動画配信によるオンライン形式
対 象	埼玉県内の医療機関の医師
参加者	66名（埼玉県：53名/さいたま市：13名）
講 師	埼玉県立小児医療センター 精神科 船橋 敬一 先生
内 容	・発達障害と不登校・ひきこもり ・ネットワーク支援 ・被虐待 等
国研修メニュー	発達障害者支援研修 指導者養成研修パートⅢ

令和4年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

3. 令和4年度アンケート結果

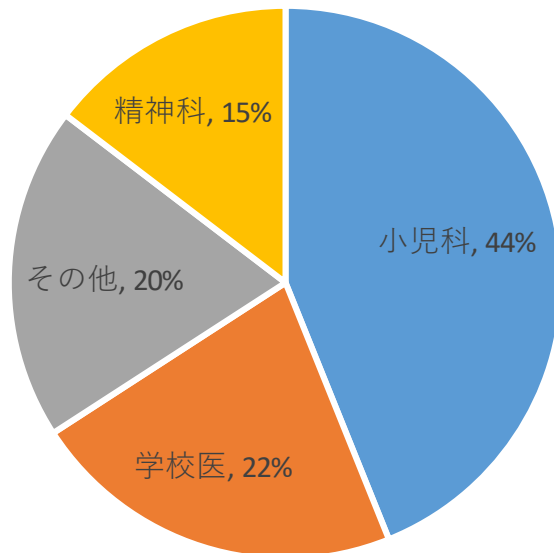
【かかりつけ医等発達障害対応力向上研修（パートⅢ）（埼玉県実施）】

実施日：令和5年1月16日（月）～令和5年1月31日（火）

アンケート回収数：41（回収率 約62%）（埼玉県：32名/さいたま市：9名）

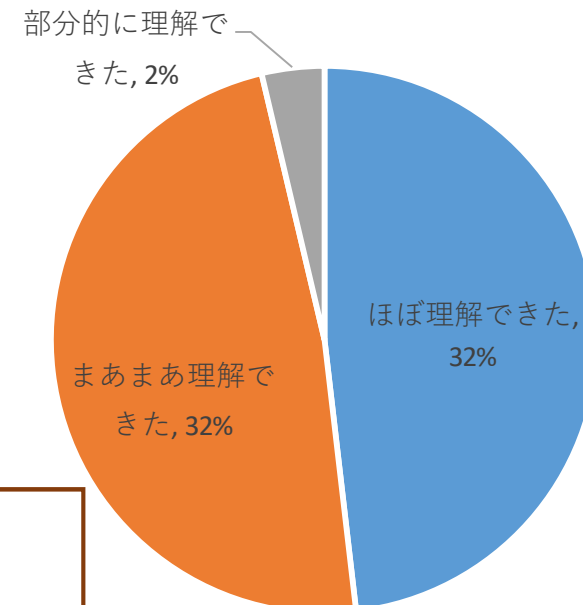
アンケート回答期間：令和5年1月16日（月）～令和5年2月17日（金）

1. 受講者の診療科



その他の内訳としては、
内科、耳鼻咽喉科など。

2. 理解度



理解度については、
・理解できた
・ほぼ理解できた
・まあまあ理解できた
・部分的に理解できた
・あまり理解できなかった
・理解できなかった
の6段階で項目設定。

3. 令和4年度アンケート結果

感想など（パートⅢ）

- ・不登校、引きこもり、ジェンダー、虐待などの問題が、発達障害と複雑に繋がっていることが良く理解できる内容でした。
- ・精神科からの視点を多く交えてご講義いただき、大変参考になりました。パート3の内容はより専門的で理解が難しいところありましたが、勉強になりました。
- ・多方面からの発達障害の講義であり、大変役に立ちました。特に「当事者や家族のネットワークと支援」や「外国にルーツを持つ児童の支援」の講義は、興味深く拝聴させていただきました。
- ・ひきこもりについても支援の順序をご提示頂くことで自身が患者とその家族に関わる上で大変参考になった。
- ・チャレンジングビヘイビアに関して医師として今後どのように貢献していけるか考えさせられた。このような講演会・研修会は定期的に行って頂きたいと思う。

令和4年度 発達障害に関する講演会について

1. 開催概要

テーマ：「成人期発達障害に対する理解と支援」

講師：昭和大学発達障害医療研究所昭和大学附属烏山病院
精神保健福祉士 五十嵐 美紀 氏

日程：令和5年3月18日（土）14時30分～16時10分まで

会場：浦和コミュニティセンター 多目的ホール

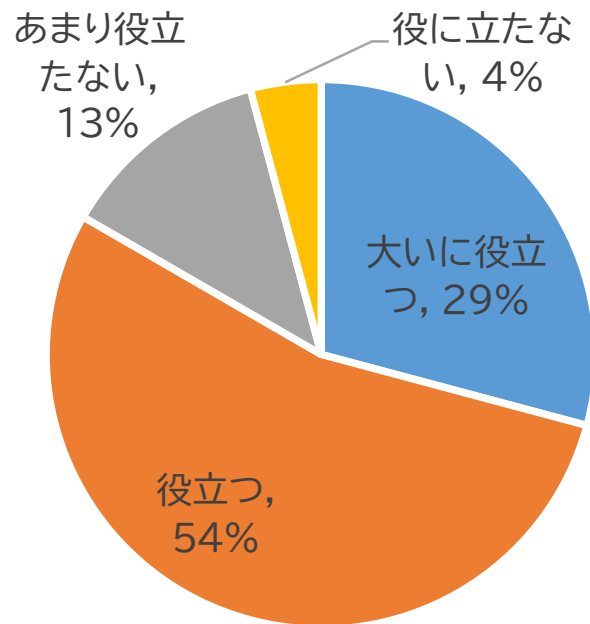
2. 開催結果

- ・来場者数：197名

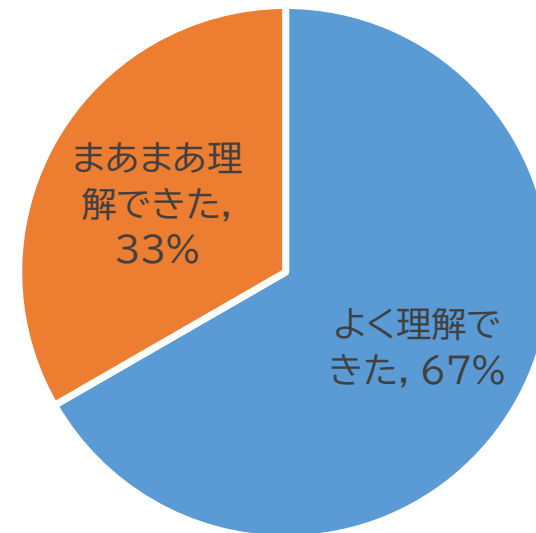
令和4年度 発達障害に関する講演会について

3. アンケート結果

役立ち度



理解度

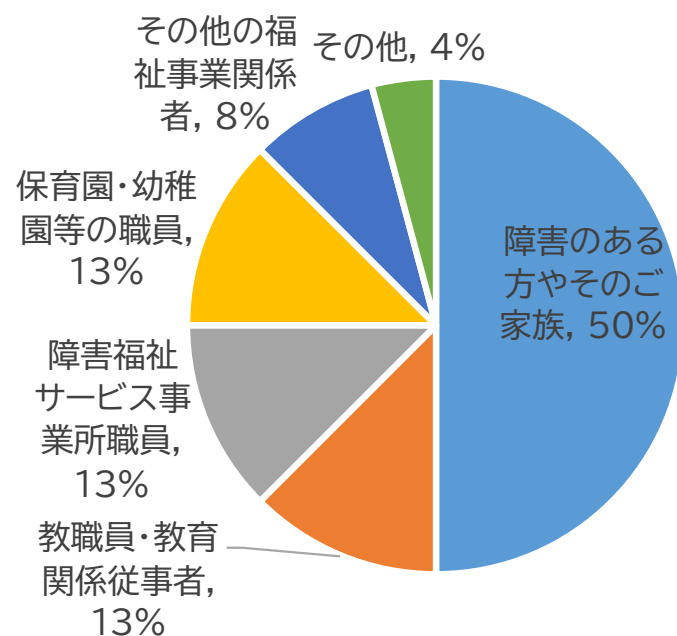


- ・「大いに役立った」、「役立つ」を合わせた割合 ⇒ 83%
- ・「よく理解できた」、「まあまあ理解できた」を合わせた割合 ⇒ 100%

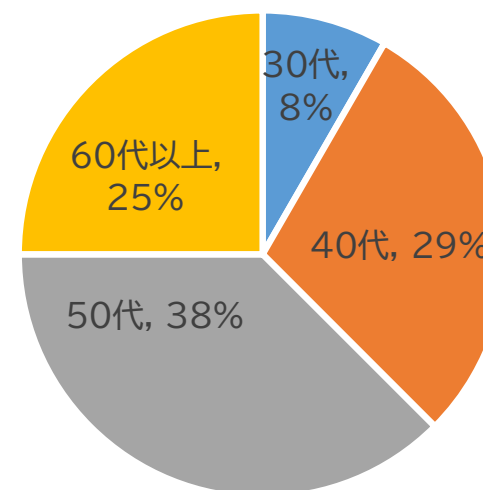
令和4年度 発達障害に関する講演会について

3. アンケート結果

参加者属性



参加者年代



○障害のある方やその家族が半数となった。成人期をテーマとしたことで、ライフステージがうつり変わることによる不安を感じている方の視聴が多かったと考えられる。

○40～50代の受講者が7割弱を占める。障害のある方の家族や支援機関における中堅ポスト、管理責任者である方の視聴が多かったものと考えられる。

令和4年度 発達障害に関する講演会について

3. アンケート結果

感想 など

- 子どもの発達障害の情報は多いけど、成人期のものは少ないので、参考になった。
- 障害当事者のお話に感銘しました。当事者に寄り添い、家族のように接している支援の方の存在の大きさに心打たれました。ありがとうございました。
- 当事者の体験談のお話を聞くことができ、自分の子どもも色々な体験をするなかで自分にとって大切な出会いをした時に感謝の気持ちを言葉で伝える人になってほしいと思いました。今回の講演会を聞いて自分の子どもの生きづらさを再度確認することができ、無理させずゆっくり対応していこうと思いました。
- 成人期発達障害について少しでも理解が出来たと思っています。職場の保育園には何人かの発達障害児がいます。その子達の生きづらさ苦手感を少しでも理解し、でこぼこを少しでも減らしてあげる手助けが出来ればと思いました。